



阿蘇温泉病院
 桃花水 0606770210881
 愛・ライフ内牧 0606770215111
 春草苑 0606770214021
 茶寿苑 06067702106955

懸命な復旧作業

九州北部豪雨の経験から

阿蘇温泉病院 総院長 下村 貴文

去る7月12日未明の記録的な集中豪雨で、阿蘇は甚大な被害に見舞われました。今回の豪雨の凄まじさは「今までに経験したことがない」「や50年に一度いや千年に一度」などの言葉で表現されています。

この豪雨で内牧地区は完全に水没し、病院本館、桃花水棟、愛・ライフ内牧そしてケアハウス茶寿苑の1階全てが股下から高い所では胸の高さまで浸水しました。汚水が引いた後には火山地域特有の黒い汚泥が堆積していました。

それぞれの施設ですぐさま復旧に入り、職員（被災した職員も）に加え、関係業者様・ボランティアの皆様への献身的な働きで3日目には汚泥の大半を除去できました。それは取材にきた某テレビ局が、もっと汚い所を見せて下さいと言うほどでした。汚泥除去後の清掃・消毒、瓦礫の撤去も比較的スムーズに進みましたが、医療インフラの被害も大きかったため、病院の外来や老健の通所サービス再開には10日間ほど要しました。



7月12日の13時30分ごろ病院の正面玄関より撮影

また、血液透析に関して施設本体は2階にあり無事でしたが、1階にあったポンプが水没し2階の透析室に送水ができなくなったため水害当日には透析ができませんでした。しかし、懸命な復旧作業により翌日にはどうか透析が可能となりました。自然災害とはいえ、外来患者様や通所利用者様に多大なご迷惑ご心配をおかけし、誠に申し訳ございませんでした。救いであったことは、入院機能や入所機能が維持できたことでした（こちらも食事や入浴などはご不自由おかけしました）。

今回の被災に際し、多方面から励ましの言葉や援助物資などをいただき、心から御礼申し上げます。今後は今回の経験を生かし、災害に強い施設作りを目指して参ります。最後になりましたが、今回の水害で被災された皆様にお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

愛・ライフ内牧よりお知らせ

8月下旬に予定していた恒例の「納涼祭」は九州北部豪雨による被災の為、中止させていただきます。

やればできた！
 復興に向けて力を合わせる

被災後の病院に初めて入った時、見たことの無いその光景に「どうなるんだろう」という言葉が何度も出ました。見えるのは泥や泥水ばかりでどこから手をつけていいのかわかりません。

しかし、職員が徐々に集まり声を掛け合い始めると、道具や力、知恵が揃い、そのおかげで少しずつ白い壁や廊下が見えてきました。またボランティアの方々にも手伝っていただき10日後には外来も再開となりました。

目に見えて復興していく中、「どうなるんだろう」の言葉はいつしか「どうにかなった」に変わっていて、今ではそれぞれが元の業務を行うことができています。

今回の被災でご迷惑を多々お掛けしましたが、坂梨会グループの職員が集まればいかなる困難も乗り越えられることを再確認することができました。（企画広報課 下田）

皆様の善意に

お礼申し上げます

この度の九州北部豪雨災害に際しまして、早々のお見舞いや激励のお言葉、ボランティアア支援、義援金、救援物資など数々のご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

今回の水害では坂梨会グループの各施設の1階が浸水してしまいましたが、皆様のご協力により速やかに復旧作業を行うことができました。

以前通りの設備や環境で業務を行うにはまだ時間を要しますが、職員一同力を合わせて参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

平成二十四年八月

坂梨会職員一同

8・9月の診療案内

| | | | |
|--------|----------------|-------|----|
| <内科> | 8月15日 | 戸上先生 | 休診 |
| | 8月25・28日 | 松本哲先生 | |
| | 8月28日 | 荒武先生 | |
| | 9月1・2日 | 戸上先生 | |
| | 9月8・18日 | 松本哲先生 | |
| <整形外科> | 8月25日 | 午後休診 | |
| <耳鼻科> | 8月27日 | 休診 | |
| <麻酔科> | 8月24日 | 坂梨先生 | 休診 |
| <歯科> | 8月11・15・16・25日 | | 休診 |

今月の「そとがき」は災害の影響で、発行部数や紙面を縮小して発行しました。来月より通常の発行を予定していますので、ご了承下さい。